

令和3年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立竜王西小学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学／英語に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語、算数ともに全国平均を下回っている結果が得られました。
- ・国語では、特に「読むこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」についての正答率が低く、また、問題の趣旨を理解できていない誤答が多い傾向が見られ、読解力についての課題があることが明らかになりました。一方で「書くこと」に関する設問では、全国平均と同程度の正答率があり、日常的に授業の中で取り組んでいる、「自分の考えを書く」という活動の成果が現れていると考えられます。
- ・算数では、「測定」と「データの活用」に関して比較的全国平均に近い正答が得られています。特にグラフの読み取りに関して問う問題では、全国平均を上回る結果が得られました。また、無回答の割合が低く、あきらめずに問題を解こうという前向きな姿勢が見て取れます。一方で三角形の面積を求める問題や文章問題から立式する問題などを苦手とする子どもが多く、「数と計算」「変化と関係」という項目についての課題が明らかになりました。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・よい傾向がみとめられる項目
「朝食を毎日食べていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」「今住んでいる地域の行事に参加していますか」「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか」の4つの項目に肯定的に回答した児童が多く、全国平均を上回っています。
- ・課題となる項目
「1日あたりどのくらいゲームをしますか」の設問において3時間以上とした子どもの割合が大変高いです。また、「自分には、よいところがあると思いますか」という設問に対して、「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」と否定的な回答をした子どもの割合が全国平均に比べて高いです。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・「自分には、よいところがあると思いますか」という設問に対して肯定的な回答が少ないことから、自尊感情の低さがうかがえます。子ども達が自分自身のよいところを見つけ、自己肯定感が高まるよう、学校全体で子ども達を褒める行動を心がけます。
- ・子ども達自身が学級の様子を分析し、課題に対しての解決策を考える「学級力向上プロジェクト」に引き続き全学級が取り組み、互いに認め合える集団づくりをします。
- ・朝読書や国語の学習内容に関連づけた読書活動に取り組み、読書の機会を増やします。また、国語科の授業を通して辞書を引く習慣を身につけ、日常生活の振り返りなどを文章で表現する活動を増やすことで、読解力の向上に努めます。
- ・算数の授業において、中学年以上では、少人数指導や学習指導員を活用し、基礎的基本的な学力の確実な定着を目指します。また、既習の内容を随時振り返りながら新しい学習を進めていけるようにします。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・親子で本を読んだり、子どもの音読を聞いたりするなど、「家読」の時間を決め、親子で取り組んでみてください。
- ・年度当初に配布しました「家庭学習の手引き」を参考にいただき、今後も引き続き、子ども達が自ら学習に取り組めるように、励ましの声を掛けてください。
- ・家庭学習の時間を確保するとともに、テレビやゲーム等のルールを作り、遵守できるようにしてください。
- ・子ども達が前向きな気持ちになれるよう、ちょっとしたことでも普段からたくさん褒めてあげてください。